

令和5年度 新潟県原子力防災訓練 アンケート結果（上越市）

1 アンケートの実施概要

新潟県原子力防災訓練終了後、市内の避難準備区域（UPZ）の住民を対象にアンケートを実施した。

- 目的：新潟県原子力防災訓練（令和5年10月29日（日）実施）における住民の実施状況等を確認し、今後の原子力防災訓練や避難計画の実効性向上のために活用する。
- 対象：柿崎区（全町内会）、吉川区（全町内会）、大潟区（雁子浜・内雁子町内会）、大島区（板山・田麦・竹平・藤尾町内会）
- 配布：事前配布
対象地域の各町内会に10部配布（10世帯未満の町内会は全世界帯に配布）
- 回収状況：

区	アンケート配布数	アンケート回収数	アンケート回収率	配布町内会数	町内会回収数	町内会回収率
柿崎区	541	467	86.3%	57	55	96.5%
吉川区	456	329	72.1%	51	42	82.4%
大島区	34	23	67.6%	4	4	100%
大潟区	20	20	100.0%	2	2	100%
合計	1,051	839	79.8%	114	103	90.4%

- 回答者の属性：

質問内容	選択肢	R4	R5	増減 (ポイント)
質問2 性別	男性	73.7%	72.0%	△1.7
	女性	26.1%	27.9%	1.8
	無回答	0.0%	0.1%	0.1
質問3 年齢	20歳未満	0.0%	0.7%	0.7
	20歳代	0.2%	1.0%	0.8
	30歳代	1.8%	4.2%	2.4
	40歳代	5.3%	7.5%	2.2
	50歳代	12.7%	13.2%	0.5
	60歳代	39.2%	33.4%	△5.8
	70歳代	31.5%	29.1%	△2.4
	80歳以上	9.1%	10.8%	1.7
	無回答	0.2%	0.1%	△0.1

2 分析結果

【事前学習及び訓練参加状況】

質問内容	行動した人の割合		増減 (ポイント)	分析
	R4	R5		
質問 4 「屋内退避対応マニュアル」を確認したか	83.5%	78.7%	△4.8	前年比減で事前準備を実施した人は8割を切ることとなった。
質問 4- (1) 同マニュアルの内容は理解できたか	92.2%	90.9%	△1.3	屋内退避時の留意点が、おおむね理解されていると考えられる。
質問 5 訓練に参加したか	58.8%	60.6%	1.8	国の訓練実施により、関心が高くなったと考えられる。
質問 6- (1) 市が発信した情報は伝わったか	95.1%	92.7%	△2.4	前年比減だが、9割を超えていることからおおむね伝わったと考えられる。
質問 6- (2) ※1 建物の中に入ったか	97.2%	95.7%	△1.5	前年比減だが、9割を超えていることからおおむね屋内退避したと考えられる。
質問 6- (3) ※1 ドアや窓を閉めたか	95.2%	97.1%	1.9	大幅に前年比減となった項目があり、屋内退避訓練の留意点について、さらなる周知が必要と考えられる。
質問 6- (4) ※1 換気扇など外気を取り込む設備を止めたか	93.0%	94.9%	1.9	
質問 6- (5) 窓などに隙間がないか確認したか	60.4%	54.9%	△5.5	
質問 6- (6) 非常時持ち出し品の準備をしたか (もしくは、準備していたか)	29.3%	30.7%	1.4	前年比増となったが、行動した人が約3割に留まっていることから、更なる周知が必要と考えられる。
質問 6- (7) ※1 食品はフタやラップをして冷蔵庫等に保管したか	80.1%	80.7%	0.6	食品の適切な管理について、おおむね理解されていると考えられる。
質問 6- (8) ※2 ペットを屋内に入れたか	88.6%	89.1%	0.5	屋内退避時のペットに関する留意点は、おおむね理解されていると考えられる。
質問 6- (9) ※1 外から帰ったら、顔や手を洗い、うがいをしたか	-	87.7%	-	帰宅時の対応について、おおむね理解されていると考えられる。

※1 質問 6-(2)～(4)、質問 6-(7)、質問 6-(9)において、訓練前から行動していたと回答した人は“行動した人”に含めた。

※2 ペットを飼っている人を集計対象とし、屋内でペットを飼っている人は“ペットを屋内に入れた”の行動に含めた。

【一時移転時の避難行動の理解度】

質問内容	知っている人の割合		増減 (ポイント)	分析
	R4	R5		
質問 7-(1) バス避難の際の一時集合場所を知っているか	66.1%	65.3%	△0.8	今年度は、「原子力災害時の一時集合場所・避難経路・避難経路所・避難所」の一覧を訓練マニュアルに挟み込む形ではなく、原子力防災ガイドブックに挟み込んだため、訓練時に住民の目に付きづらかったと考えられる。 一時移転時の避難行動は十分に理解しておいていただく必要があることから、今後の周知方法を検討していく必要がある。
質問 7-(2) 避難経路を知っているか	59.1%	60.1%	1.0	
質問 7-(3) 避難経路所を知っているか	58.8%	57.6%	△1.2	
質問 7-(4) 避難先施設を知っているか	69.3%	67.0%	△2.3	

【避難行動の意向】

質問内容	選択肢	R4	R5	増減 (ポイント)	分析
質問 8 屋内退避指示が発令された場合にどのような行動を取るか	自宅に留まる（屋内退避）	85.4%	81.1%	△4.3	約 97% → 95%に前年比減となったが、屋内退避指示が発令された場合の避難行動が、おおむね理解されていると考えられる。
	近隣の屋内退避所（指定避難所）に移動する	11.4%	13.9%	2.5	
	その他	1.0%	1.8%	0.8	
	無回答	2.2%	3.2%	1.0	
質問 9 一時移転または避難指示が発令された場合にどのような行動を取るか	自家用車で避難	78.9%	76.5%	△2.4	「無回答」が増えた。「その他」で一時集合場所に行くとは回答した人もおり、車やバスで避難する人は前年比減となった。
	自治体の手配したバスで避難	17.7%	15.1%	△2.6	
	その他	1.0%	2.7%	1.7	
	無回答	2.4%	5.7%	3.3	

【スクリーニングの理解度】

質問内容	知っている人の割合		増減 (ポイント)	分析
	R4	R5		
質問 10 スクリーニングを受けることを知っているか	68.3%	67.1%	△1.2	スクリーニングへの理解度が前年比減となっているため、避難行動の一つとして重要性を周知する必要がある。
質問 11 スクリーニングの後、避難経路所に向かうことを知っているか	62.8%	61.4%	△1.4	

【各家庭における食料の備蓄状況】

質問内容	選択肢	R4	R5	増減 (ポイント)	分析
質問 12 避難に備え、家庭には何日分の食料を備蓄しているか	3日分以上	29.9%	26.7%	△3.2	備蓄していないと回答した人が増えたため、3日分以上の備蓄の必要性を周知する必要がある。
	1～3日分	43.0%	41.2%	△1.8	
	備蓄していない	24.0%	26.8%	2.8	
	無回答	3.1%	5.3%	2.2	

【全体評価】

1. 昨年に比べて訓練への参加率が増加した一方で、屋内退避対応マニュアルを事前確認した人の割合は減少した。今回は、若年層からのアンケート回答率が高くなったが、仕事等の都合により訓練に参加しなかった人が多かった。 →質問 3、質問 4、質問4-(1)、質問5を参照
2. 訓練時に「建物の中に入った」人と、屋内退避指示が発令された場合に「自宅に留まる」「近隣の屋内退避所に移動する」とした屋内退避の意向がある人の割合がそれぞれ 9 割を超えており、前年比減となったものの、最も重要な避難行動である「屋内退避」がおおむね理解されていることが分かる結果となった。 →質問 6-(2)、質問 8 を参照

【個別評価】

3. 「バス避難の一時集合場所」や「避難先施設」など、一時移転時の避難行動の認知度に関して、ほぼすべての質問で昨年度を下回る結果となった。知っている人の割合が約 6 割に留まっていることから、周知方法を工夫して理解度を高める必要がある。 →質問 7-(1)～7-(4)を参照
4. スクリーニングを理解している人の割合は前年比減となり、また認知度が約 6 割に留まっていることから、一連の避難行動について周知する必要がある。 →質問 10、質問 11 を参照
5. 「3 日分以上の食料を備蓄している人」が 3 割弱に留まっており、また、備蓄していない人の割合も増えていることから、原子力災害に限らず防災の備えとして必要性を周知する必要がある。 →質問 12 を参照

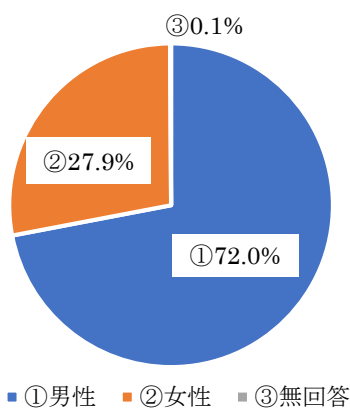
3 アンケート結果

質問1 あなたのお住まいの町内会を教えてください。

・省略

質問2 あなたの性別を教えてください。

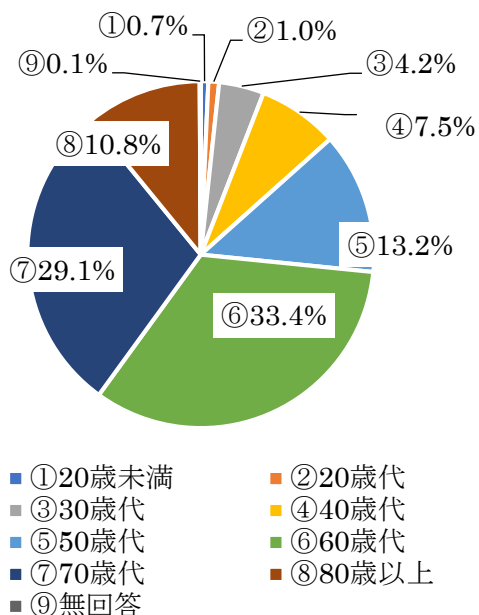
・回答者の性別は「男性」が72.0%、「女性」が27.9%であった。



	回答数	割合
①男性	604	72.0%
②女性	234	27.9%
③無回答	1	0.1%
合計	839	

質問3 あなたの年齢（令和5年4月1日現在）を教えてください。

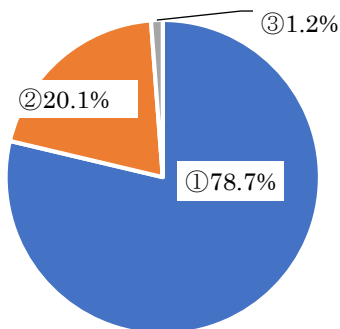
・回答者の年齢は「60歳代」が33.4%を占めて最も多く、次いで「70歳代」が29.1%、「50歳代」が13.2%の順であり、全体では「50歳代」以上が約86.5%を占めた。



	回答数	割合
①20歳未満	6	0.7%
②20歳代	8	1.0%
③30歳代	35	4.2%
④40歳代	63	7.5%
⑤50歳代	111	13.2%
⑥60歳代	280	33.4%
⑦70歳代	244	29.1%
⑧80歳以上	91	10.8%
⑨無回答	1	0.1%
合計	839	

質問4 訓練前に配布した「原子力災害に備えた屋内退避対応マニュアル」を確認しましたか。

・「確認した」と回答した人が78.7%、「確認しなかった」が20.1%であった。



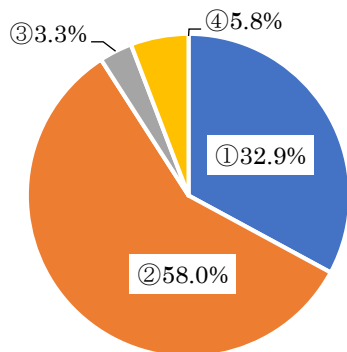
■ ①確認した ■ ②確認しなかった ■ ③無回答

	回答数	割合
①確認した	660	78.7%
②確認しなかった	169	20.1%
③無回答	10	1.2%
合計	839	

【「確認した」を選択した人のみに質問】

「原子力災害に備えた屋内退避対応マニュアル」の内容は理解できましたか。

・「概ね理解できた」と回答した人が58.0%で最も多く、次いで「理解できた」と回答した人が32.9%であった。「理解できた」「概ね理解できた」と回答した人は合わせて90.9%を占めた。

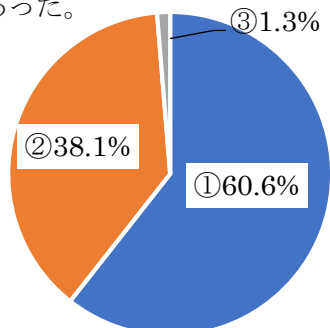


■ ①理解できた ■ ②概ね理解できた
■ ③よく理解できなかった ■ ④無回答

	回答数	割合
①理解できた	217	32.9%
②概ね理解できた	383	58.0%
③よく理解できなかった	22	3.3%
④無回答	38	5.8%
合計	660	

質問5 訓練に参加しましたか。 ※「参加しなかった」を選択した人は**質問7**へ

・アンケート回答者のうち、訓練に「参加した」と回答した人が60.6%、「参加しなかった」が38.1%であった。



■ ①参加した ■ ②参加しなかった ■ ③無回答

	回答数	割合
①参加した	508	60.6%
②参加しなかった	320	38.1%
③無回答	11	1.3%
合計	839	

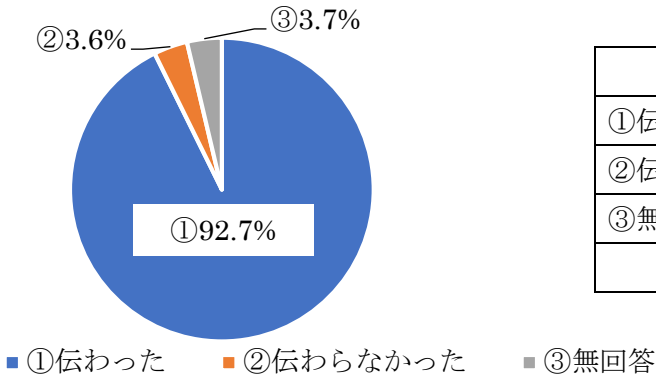
【参加しなかった理由】

- ・「参加しなかった」を選択した320人のうち159人から回答があり、仕事や所用等のため参加できなかったと回答した人が152人(95.6%)であった。
- ・「訓練が実施されることを知らなかった」という回答は1件であった。

質問6 「原子力災害に備えた屋内退避対応マニュアル」の「屋内退避チェックリスト」にある項目の実施状況についてお聞きします。

(1) 市が防災行政無線や広報車で発信した情報はあなたに伝わりましたか。

・市が行った広報活動が「伝わった」と回答した人は92.7%であった。

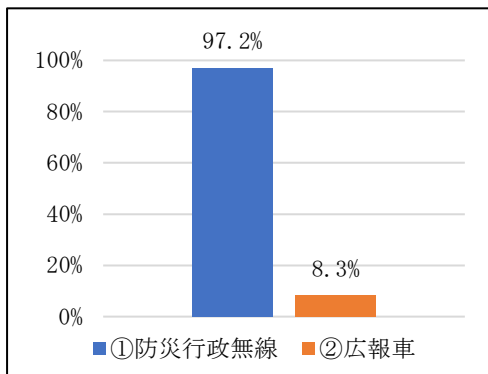


	回答数	割合
①伝わった	471	92.7%
②伝わらなかった	18	3.6%
③無回答	19	3.7%
合計	508	

【「伝わった」を選択した人のみに質問】

それは、どの広報手段でしたか。(複数回答可)

・「伝わった」と回答した人のうち、「防災行政無線」が97.2%で最も多く、次いで「広報車」が8.3%であった。

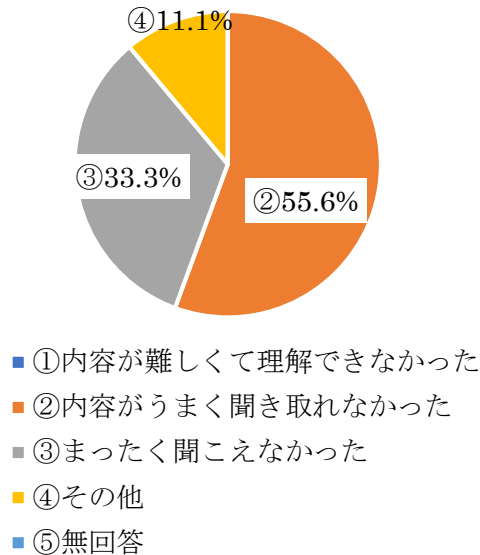


	回答数	割合
①防災行政無線	458	97.2%
②広報車	39	8.3%

【「伝わらなかった」を選択した人のみに質問】

その理由も教えてください。

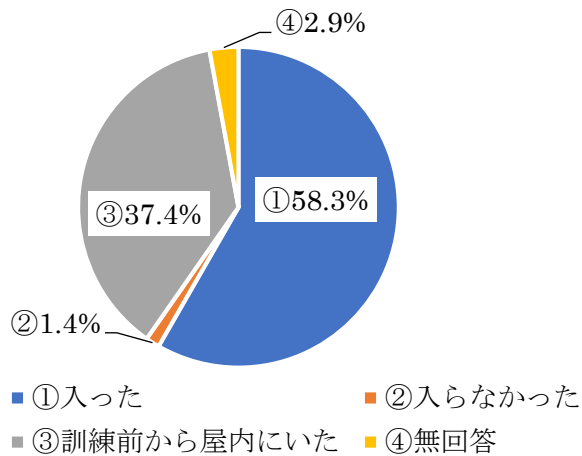
・「伝わらなかった」と回答した人の理由は、「内容がうまく聞きとれなかった」が55.6%で最も多かった。



	回答数	割合
①内容が難しく理解できなかった	0	0.0%
②内容がうまく聞き取れなかった	10	55.6%
③まったく聞こえなかった	6	33.3%
④その他	2	11.1%
⑤無回答	0	0.0%
合計	18	

(2) 建物の中に入りましたか。 ※「入らなかった」を選択した人は質問7へ

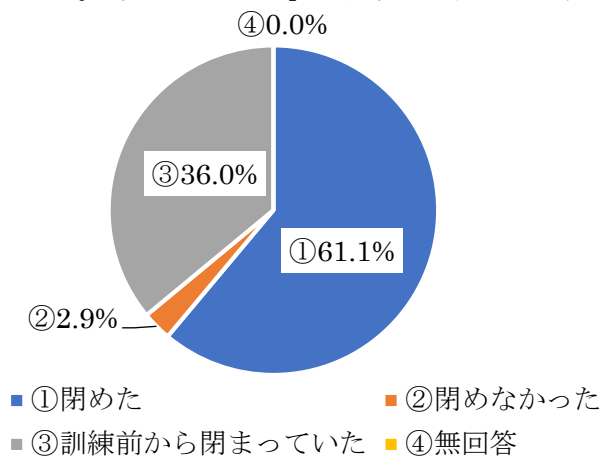
・「入った」と回答した人が 58.3%で最も多く、次いで「訓練前から屋内にいた」が 37.4%であった。「入らなかった」と回答した人は 1.4%であった。



	回答数	割合
①入った	296	58.3%
②入らなかった	7	1.4%
③訓練前から屋内にいた	190	37.4%
④無回答	15	2.9%
合計	508	

(3) 外気が入らないよう、ドアや窓を閉めましたか。

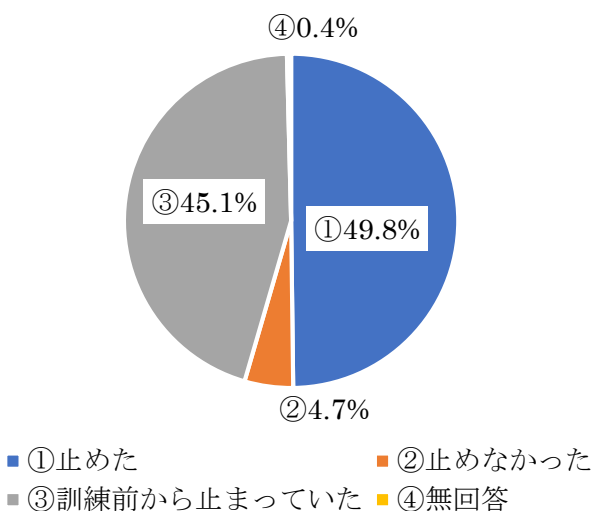
・「閉めた」と回答した人が 61.1%で最も多く、次いで「訓練前から閉まっていた」が 36.0%であった。「閉めなかった」と回答した人は 2.9%であった。



	回答数	割合
①閉めた	297	61.1%
②閉めなかった	14	2.9%
③訓練前から閉まっていた	175	36.0%
④無回答	0	0.0%
合計	486	

(4) 換気扇など、外気を取り込む設備を止めましたか。

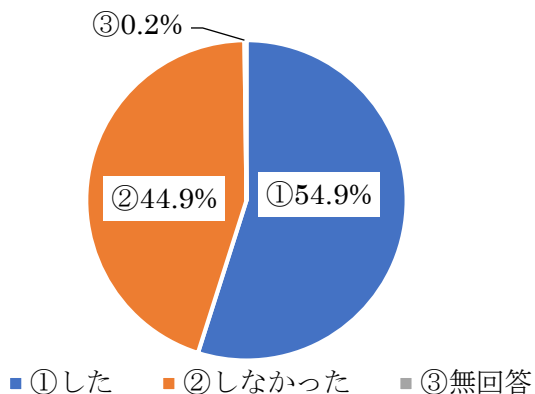
・「止めた」と回答した人が 49.8%で最も多く、次いで「訓練前から止まっていた」が 45.1%であった。「止めなかった」と回答した人は 4.7%であった。



	回答数	割合
①止めた	242	49.8%
②止めなかった	23	4.7%
③訓練前から止まっていた	219	45.1%
④無回答	2	0.4%
合計	486	

(5) 窓などに隙間がないか確認しましたか。

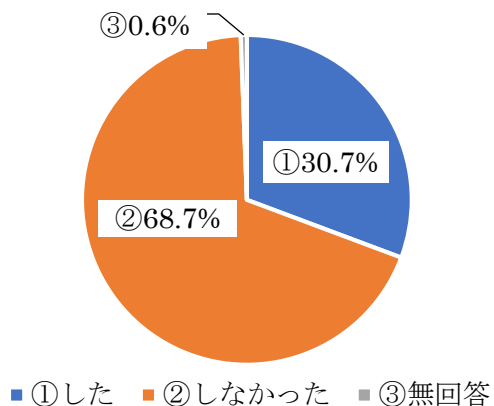
・確認を「した」と回答した人が54.9%、「しなかった」が44.9%であった。



	回答数	割合
①した	267	54.9%
②しなかった	218	44.9%
③無回答	1	0.2%
合計	486	

(6) 避難に備え、非常時持ち出し品を準備しましたか（もしくは、準備していましたか）。

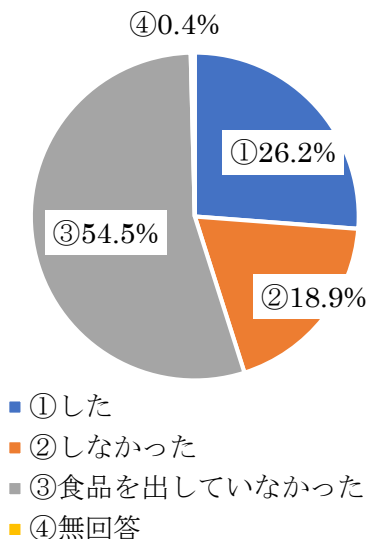
・「準備したもしくは、準備していた」と回答した人が30.7%、「しなかった」が68.7%であった。



	回答数	割合
①した	149	30.7%
②しなかった	334	68.7%
③無回答	3	0.6%
合計	486	

(7) 食品はフタやラップをして冷蔵庫や戸棚に保管しましたか。

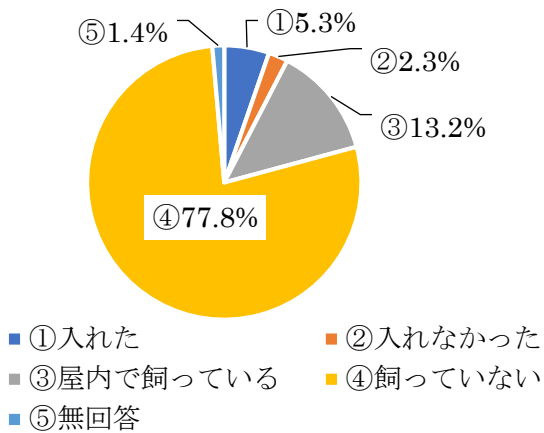
・「訓練中は食品を出していなかった」と回答した人が54.5%で最も多く、次いで保管を「した」人が26.2%、「しなかった」が18.9%であった。



	回答数	割合
①した	127	26.2%
②しなかった	92	18.9%
③訓練中は食品を出していなかった	265	54.5%
④無回答	2	0.4%
合計	486	

(8) ペットを屋内に入れましたか。

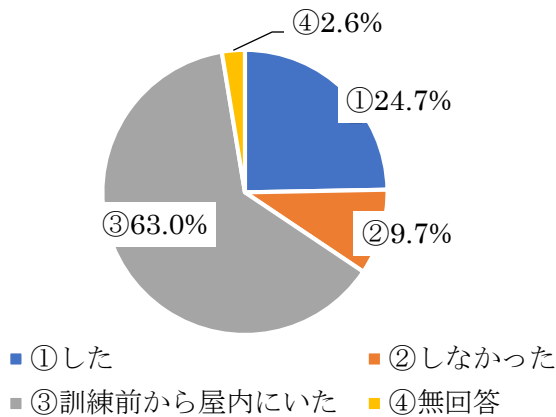
- ・「ペットを飼っていない」と回答した人が77.8%で最も多かった。
- ・ペットを飼っている人のうち、「もともと屋内で飼っている」が13.2%で、次いで「入れた」が5.3%、「入れなかった」が2.3%であった。



	回答数	割合
①入れた	26	5.3%
②入れなかった	11	2.3%
③もともと屋内で飼っている	64	13.2%
④ペットを飼っていない	378	77.8%
⑤無回答	7	1.4%
合計	486	

(9) 外から帰ったときは、顔や手を洗い、うがいをしましたか。

- ・「訓練前から屋内にいた」と回答した人が63.0%で最も多く、次いで「した」が24.7%であった。
- ・「しなかった」と回答した人は9.7%であった。

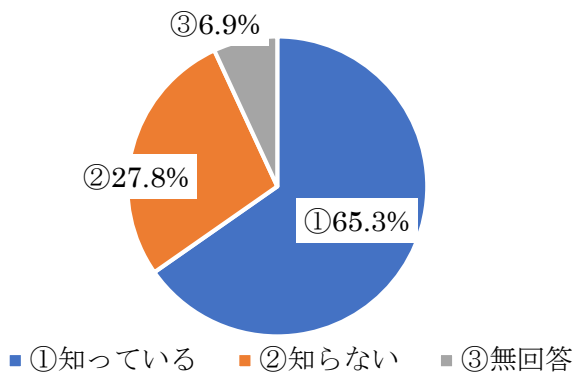


	回答数	割合
①した	120	24.7%
②しなかった	47	9.7%
③訓練前から屋内にいた	306	63.0%
④無回答	13	2.6%
合計	486	

質問7 原子力災害時における、あなたがお住まいの地域の避難計画（①バスで避難する場合の一時集合場所、②避難経路、③避難経由所、④避難先の施設）を知っていますか。

①バスで避難する場合の一時集合場所

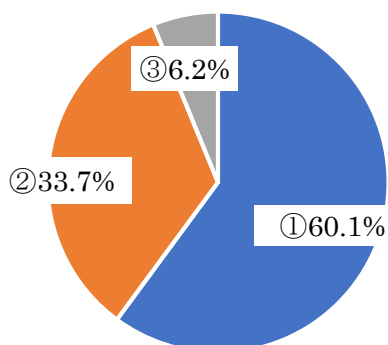
- ・「知っている」と回答した人が65.3%、「知らない」が27.8%であった。



	回答数	割合
①知っている	548	65.3%
②知らない	233	27.8%
③無回答	58	6.9%
合計	839	

②避難経路

・「知っている」と回答した人が60.1%、「知らない」が33.7%であった。

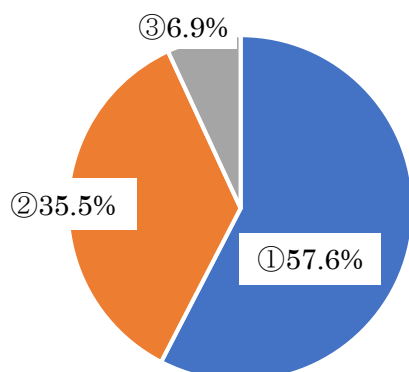


	回答数	割合
①知っている	504	60.1%
②知らない	283	33.7%
③無回答	52	6.2%
合計	839	

■ ①知っている ■ ②知らない ■ ③無回答

③避難経由所

・「知っている」と回答した人が57.6%、「知らない」が35.5%であった。

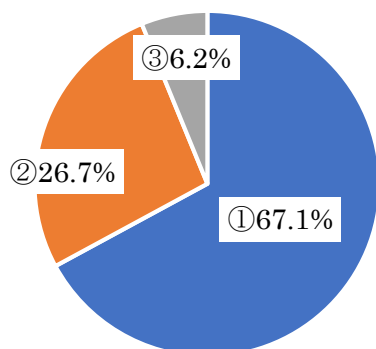


	回答数	割合
①知っている	483	57.6%
②知らない	298	35.5%
③無回答	58	6.9%
合計	839	

■ ①知っている ■ ②知らない ■ ③無回答

④避難先の施設

・「知っている」と回答した人が67.0%、「知らない」が26.7%であった。

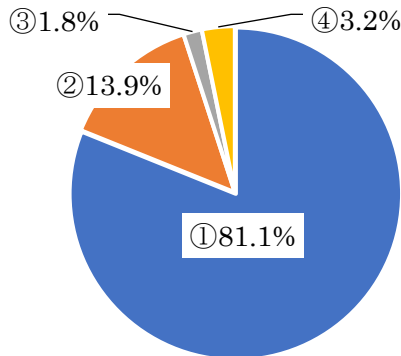


	回答数	割合
①知っている	562	67.0%
②知らない	224	26.7%
③無回答	53	6.3%
合計	839	

■ ①知っている ■ ②知らない ■ ③無回答

質問 8 あなたがお住まいの地域に屋内退避指示が出された場合、どのような行動を取りますか。

・「自宅に留まる」と回答した人が 81.1%で最も多く、次いで「近隣の指定避難所に移動する」が 13.9%であった。



	回答数	割合
①自宅に留まる (屋内退避)	680	81.1%
②近隣の屋内退避所 (指定避難所) に移動する	117	13.9%
③その他	15	1.8%
④無回答	27	3.2%
合計	839	

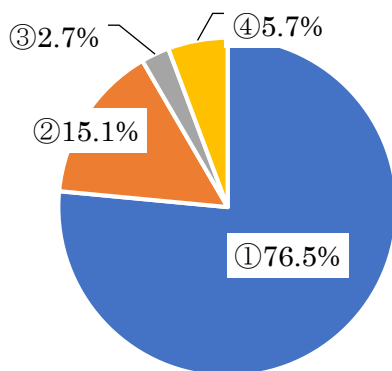
- ①自宅に留まる (屋内退避)
- ②近隣の屋内退避所 (指定避難所) に移動する
- ③その他
- ④無回答

【「その他」の主な回答内容】

- ・自己判断により車で避難する。
- ・県外に避難する、できるだけ遠くに行く。
- ・道路が混雑する前に市外へ避難する。

質問 9 あなたがお住まいの地域に一時移転又は避難指示が出された場合、どのような行動をとりますか。

・「自家用車で避難」と回答した人が 76.5%と最も多く、次いで「自治体が手配したバスで避難」が 15.1%であった。



	回答数	割合
①自家用車で避難	642	76.5%
②自治体が手配したバスで避難	127	15.1%
③その他	22	2.7%
④無回答	48	5.7%
合計	839	

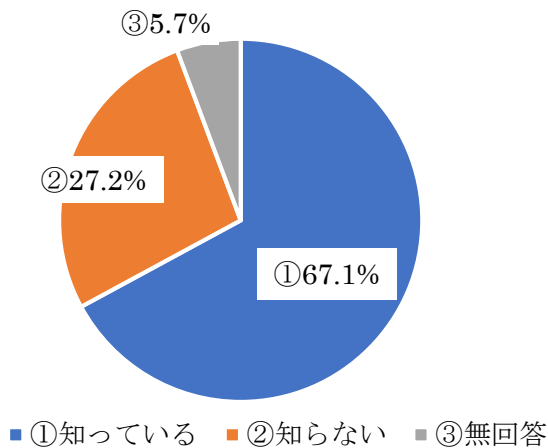
- ①自家用車で避難
- ②自治体が手配したバスで避難
- ③その他
- ④無回答

【「その他」の主な回答内容】

- ・自宅に留まる (屋内退避)。
- ・近隣の人と行動を共にする。
- ・発生時の状況による。

質問 10 一時移転又は避難の際に、スクリーニングを受けることをご存知ですか。

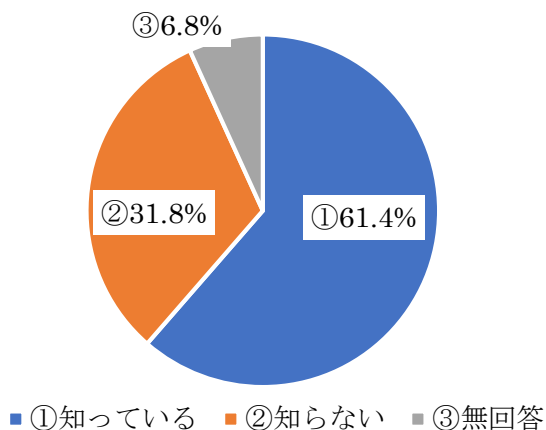
・「知っている」と回答した人が 67.1%、「知らない」が 27.2%であった。



	回答数	割合
①知っている	563	67.1%
②知らない	228	27.2%
③無回答	48	5.7%
合計	839	

質問 11 一時移転又は避難の際に、スクリーニングを受けた後、避難経路所に向かうことをご存知ですか。

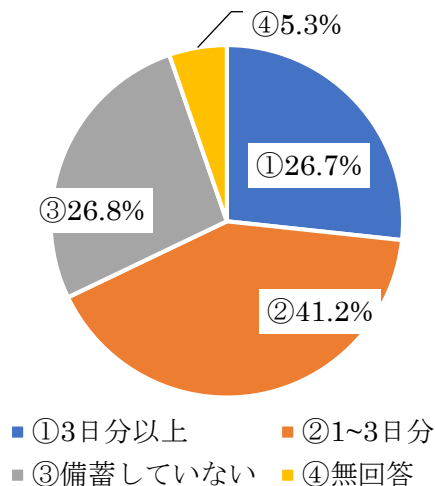
・「知っている」と回答した人が 61.4%、「知らない」が 31.8%であった。



	回答数	割合
①知っている	515	61.4%
②知らない	267	31.8%
③無回答	57	6.8%
合計	839	

質問 12 災害に備え、ご家庭には何日分の食料等を備蓄していますか。

・「1～3日分」と回答した人が 41.2%で最も多く、次いで「備蓄していない」が 26.8%、「3日分以上」が 26.7%であった。



	回答数	割合
①3日分以上	224	26.7%
②1～3日分	346	41.2%
③備蓄していない	225	26.8%
④無回答	44	5.3%
合計	839	

質問 13 訓練や原子力災害時の避難など全般に関するご感想、ご意見がありましたら記入してください。(自由記述)

・126人から寄せられた意見を下記の項目にまとめた。

※類似の意見の件数を< >内に表記

(1) 訓練実施・内容【34件】

- ・訓練は大切なことなので、地域や家族でやって行かなければならない。<5件>
- ・福島第一原発のような事故が起きたら、住民の訓練など無駄だと思う。<5件>
- ・夜間や降雪時にも訓練を実施してほしい。<3件>
- ・実際に避難の流れを訓練してよい経験になった。<3件>
- ・屋内退避訓練だけでなく、一時移転訓練に参加してみたい。<2件>
- ・訓練は必要だが、実際の災害時に対応できるのか疑問を感じる。
- ・訓練が現実的でなく、無意味に感じる。 など

(2) 事前周知・普及啓発【10件】

- ・避難所がどこにあるのか分からない。ガイドブックに住所や地図を入れてはどうか。<3件>
- ・日頃から原子力防災について考える必要性を感じた。住民への啓発を進めてほしい。<2件>
- ・一年に一度は自治体と学習会等をする必要があると感じた。
- ・子どもたちの日常生活(学校のある日など)を想定した避難行動をもっと広報してほしい。 など

(3) 情報伝達【16件】

- ・戸別受信機の放送が聞こえない時があった。<4件>
- ・屋内退避指示等の放送が聞きづらい。<3件>
- ・事故時は風向きについての情報を放送してほしい。<2件>
- ・広報車による広報は、屋内にいと聞こえないので、つい窓を開けてしまった。
- ・訓練時の職員の指示は、高齢者等にも聞こえやすいようにハンドマイクを使ってほしい。また、的確な指示を出してほしい。
- ・放射線量の変化を天気アプリの雨雲情報のようにリアルタイムで見ることができるといい。 など

(4) 避難行動(屋内退避・一時移転等)【42件】

- ・高齢者等の避難行動要支援者がちゃんと避難できるのか不安だ。<7件>
- ・冬季の避難(避難経路の確保、大雪時の対応等)が不安だ。<7件>
- ・車の渋滞が起きて避難できるのか。<6件>
- ・災害時に避難所にたどり着けるのか疑問を感じる。
- ・マニュアルどおりの避難するのは不可能。風向き等の条件によって避難方向が大きく変わるのではないか。
- ・高齢なので避難しない。
- ・スクリーニングポイントの開設場所は放送してくれるのか。
- ・高速道路は無料になるか。
- ・感染症になっていた場合は自家用車で避難せざるを得ないので不安を感じる。
- ・避難時に着用する雨カッパやマスクは町内会で用意できるように予算措置してほしい。
- ・ペットがいるので、他の人と一緒に行動するのはかなり大変だと感じる。
- ・災害が発生した場合、いつ、だれが、どのように誘導するのか。自己判断で避難するのか。 など

(5) 安定ヨウ素剤【1件】

- ・安定ヨウ素剤についてももう少し勉強したいと感じた。

(6) 災害への備え【11件】

- ・日頃から、災害に備えて知識を得ていく必要があることを認識した。 <4件>
- ・災害に備えて道路整備をしてほしい。 <3件>
- ・食料備蓄をしっかりとっておきたい。
- ・「原子力災害に備えた屋内退避対応マニュアル」を常時、目につきやすいところに置いておきたい。
- ・日頃から家族で避難行動について話し合っておく必要があると感じた。
- ・原子力防災ガイドブックの中に避難所の住所や地図を入れてほしい。 など

(7) 原発【14件】

- ・原発はいらない。廃炉にしてほしい。 <8件>
- ・原子力発電は大変怖いものだと思う。危険であるをもっと周知してほしい。 <2件>
- ・柏崎刈羽原発は不祥事続きで、全く信頼できない。
- ・訓練をしなくても済むような発電所にしてほしい。
- ・原発で発電しなくても、太陽光、風力などの再生可能エネルギーでよい。 など

(8) その他【11件】

- ・原子力災害時に水道水が使用できるのか。 <2件>
- ・原子力災害が起きないことを願う。
- ・原子力災害が起こると大変だと思うが、実感がわからない。
- ・道路整備が完了してから再稼働の議論を始めてほしい。再稼働可否の住民投票を行ってほしい。
- ・訓練参加者に日当を支給すべき。なぜ避難しなければならないのか。原発がなければ必要のないこと。
- ・震災の前の生活には戻れないが、何かを責めるだけでなく一歩を踏み出せるような制度を望む。
- ・毎年アンケートの内容が同じである。アンケートの集計結果から何を確認したいのか。

【参考資料】

アンケート様式

(8) ペットを屋内に入れましたか。

- 入れた
- 入れなかった
- もともと屋内で飼っている
- ペットを飼っていない

(9) 外から帰ったときは、顔や手を洗い、うがいをしましたか。

- した
- しなかった
- 訓練前から屋内にいた

質問7

原子力災害時における、あなたがお住まいの地域の避難計画（①バスで避難する場合の一時集合場所、②避難経路、③避難経由所、④避難先の施設）を知っていますか。

①バスで避難する場合の一時集合場所

- 知っている
- 知らない

②避難経路

- 知っている
- 知らない

③避難経由所

- 知っている
- 知らない

④避難先の施設

- 知っている
- 知らない

質問8

あなたがお住まいの地域に屋内退避指示が出された場合、どのような行動を取りますか。

- 自宅に留まる（屋内退避）
- 近隣の屋内退避所（指定避難所）に移動する
- その他 → 下記にあなたの行動を記入してください

[]

質問 9

あなたがお住まいの地域に一時移転又は避難指示が出された場合、どのような行動を取りますか。

- 自家用車で避難（自身もしくは家族の車、および親族・知人の車など）
 自治体が手配したバスで避難
 その他 → 下記にあなたの行動を記入してください

[]

質問 10

一時移転又は避難の際に、スクリーニング*を受けることをご存知ですか。

- 知っている
 知らない

※スクリーニングとは…一時移転又は避難する時に、人や車などに放射性物質が付着していないか確認する検査のこと

質問 11

一時移転又は避難の際に、スクリーニングを受けた後、避難経路所に向かうことをご存知ですか。

- 知っている
 知らない

質問 12

避難に備え、ご家庭には何日分の食料等を備蓄していますか。

- 3日分以上
 1～3日分
 備蓄していない

質問 13

訓練や原子力災害時の避難など全般に関するご感想、ご意見がありましたら記入してください。

[]

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

《本アンケートに関するお問合せ・提出先》

- | | | |
|-------------------------|-----------------|------------------|
| ・ 柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ | 電話：025-536-2211 | FAX：025-536-2227 |
| ・ 吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ | 電話：025-548-2311 | FAX：025-548-3011 |
| ・ 大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ | 電話：025-534-2111 | FAX：025-534-5532 |
| ・ 大島区総合事務所 総務・地域振興グループ | 電話：025-594-3101 | FAX：025-594-3105 |
| ・ 浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ | 電話：025-599-2301 | FAX：025-599-2225 |